

令和8年8月21日
国土交通省関東地方整備局
下館河川事務所

下館河川事務所は河川愛護団体等へ感謝状を贈呈しました

国土交通省では、毎年7月を河川愛護月間とし、流域住民・関係行政機関により、良好な河川環境の保全・再生への取り組みを推進し、国民の河川愛護意識の醸成を図っています。

下館河川事務所では、川とのつながりの中で、地域の活性化・地域環境の美化・子供たちへの環境教育など地域に貢献し、他の模範となる活動を持続的に行っている団体・個人に感謝状を贈っています。

令和8年度は、以下の3団体及び1名の個人に対し感謝状を贈呈しました。

- ・ 栃木県立宇都宮白楊（はくよう）高等学校
- ・ 真岡市立長沼（ながぬま）小学校
- ・ 花と一万人の会ジュニアスタッフ

〈栃木県立宇都宮白楊高等学校〉



〈真岡市立長沼小学校〉



〈花と一万人の会ジュニアスタッフ〉



〈茨城新聞社、2026年7月27日〉



下妻・大形小児童を表彰

国交省 鬼怒川の環境保全評価

下妻市立大形小の児童でつくる「花万ジュニアスタッフ」が、河川愛護団体として国土交通省下館河川事務所から表彰された。地域

と連携し、環境保全や環境学習に取り組んできたことが評価された。同市別府の同校で16日、表彰式が行われ、代表で表彰状を受け取った6年の人見紗椰香さんは「一生懸命頑張ったことが認められてうれしい。これからもみんなでゴミを拾っていきたい」と話した。

花万ジュニアスタッフは2001年、鬼怒川で清掃活動を行い、代表として表彰状を受け取る花万ジュニアスタッフの人見紗椰香さん（下妻市別府）

川の環境保全に取り組む同市の市民グループ「花と万人の会」から、川に隣接する大形小の児童が任命を受ける形で結成された。現在は4～6年生計55人が所属する。昨年度は5月と11月、今年1月に河川敷や学校周辺のゴミ拾いを実施し、河川敷にボヒを植えて彩るといった活動も行った。

表彰式では同事務所兼庭出張所の染谷英紀所長が表彰状を手渡した。同グループの飯島順一執行役顧問が祝福し「みんなの先輩たちの活動が今日まで続いている。この活動は次の世代にもついでいかなければならない」と呼びかけた。

（小島慧介）

〈日刊建設新聞社、2026年7月25日〉



下館河川事務所

国土交通省下館河川事務所（荒井幸雄所長）は、2026年度の河川愛護団体等表彰に下妻市立大形小学校（倉持真由美校長）の児童でつくる「花と万人の会・花万ジュニアスタッフ」を選定。16日には、同校体育館で表彰式を行った。

同ジュニアスタッフは、同市の市民団体「花と万人の会」（飯島順一会長、会員25人）から任命を受けた同小学校の4～6年生59人で構成する。花と万人の会は、1991年に設立。年間を通して花畑の管理や

大形小学校(下妻)を表彰

河川愛護団体の活動で

河川敷の清掃・除草、河川利用者へのマナー啓発のほか、子どもたちの自然体験・学習の場の提供などの活動をしている。2025年度には、同じ河川愛護団体等表彰を受賞した。

同校は鬼怒川に隣接しているため、子どもたちは総合的な学習の時間を利用してながら地域団体の活動をたたえ表彰状を贈呈

国土交通省は、毎年7月を河川愛護月間に設定。下館河川事務所では川とのつながりの中で、地域の活性化・地域環境の美化・子供たちへの環境教育など地域に貢献し、他の模範となる活動を継続的に行っている団体・個人に感謝状を贈っている。

国土交通省は、毎年7月を河川愛護月間に設定。下館河川事務所では川とのつながりの中で、地域の活性化・地域環境の美化・子供たちへの環境教育など地域に貢献し、他の模範となる活動を継続的に行っている団体・個人に感謝状を贈っている。

表彰を受けて倉持校長は、「活動は10年から続けている。受賞はこれまで活動を続けた先輩たちのお陰でもある。このパトンを後輩たちにもつなげたい」と謝意を表した。

同団体は、鬼怒川の環境保全に取り組む市民グループ「花と万人の会」から任命を受けて結成。鬼怒川に隣接する大形小の4～6年生の児童約50人が構成メンバーとなっている。

児童たちは、総合的な学習の時間を活用して探究的な学習を行った。河川敷の動植物の観察や清掃活動に参加するなど、地域団体と連携して身近な自然環境について学んでいる。

〈日本工業経済新聞社、2026年7月30日〉

花万ジュニアスタッフ表彰

河川愛護の取組み評価

下館河川



下妻市立大形小学校の児童で結成する組織「花万ジュニアスタッフ」は16日、国土交通省下館河川事務所（荒井幸雄所長）から河川愛護団体等表彰を受けた。地域団体と連携し、主体的に河川環境の保全活動

や環境学習に取り組む姿が高く評価された。同事務所兼庭出張所の染谷英紀所長が同校を訪れ、児童代表に表彰状を手渡した。

同団体は、鬼怒川の環境保全に取り組む市民グループ「花と万人の会」から任命を受けて結成。鬼怒川に隣接する大形小の4～6年生の児童約50人が構成メンバーとなっている。

児童たちは、総合的な学習の時間を活用して探究的な学習を行った。河川敷の動植物の観察や清掃活動に参加するなど、地域団体と連携して身近な自然環境について学んでいる。

表彰の後記念撮影をする児童たち